

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		災害防止対策事業			
事業の概要	<p>地震や風水害、火災などの災害から住民の生命と財産を守るため、防災体制や設備の充実・強化を図り、災害に強いまちを目指すものである。有事に備え、土砂災害警戒区域の住民の警戒避難体制の強化や、与謝野町全体の自主防災組織の充実を図る。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線受信機整備事業 15台 ・自主防災組織用ウインドブレーカー整備事業 366着 ・消防ホース格納箱等整備事業 屋外ホース格納箱 31個 消火栓ホース 60本 				
	事業期間	平成20年度			
	総事業費	3,517	本年度事業費	3,517	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	平成20年3月に与謝野町の一部の地域が土砂災害警戒区域に指定されたことにより、区域内の住民の警戒避難体制を整えるものである。 また、毎年各自治会が消火栓用ホース格納箱等の点検を実施しており、機能が損なわれたものについては速やかに交換する必要がある。			
	事業の有効性	有事に備え、土砂災害警戒区域の住民の警戒避難体制の強化や、与謝野町全体の自主防災組織の充実を図ることで、住民の生命と財産を守り災害に強いまちを目指すものである。			
	事業の効率性	災害は突発的に発生し、甚大な被害をもたらすため、防災体制の強化を図ることで、災害から町民の生命・財産を守り、安心・安全なまちとするものである。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 各自治会で組織された自主防災組織の格差を解消し町全体の防災体制を強化することにより、地域住民の防火・防災意識の向上が図られ、火災時の初期消火や災害時の避難誘導等、有事の際に効果を発揮することが期待できる。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果 家庭用受信機の整備により、避難準備情報の伝達・避難勧告・避難指示が迅速かつ正確に行うことができる。また、防災体制の充実により、地域でのより迅速な対応が可能となり、安心・安全のまちづくりに資するものである。					
5 行財政改革に資する成果 防災行政無線屋外拡声子局や広報車での情報伝達では、豪雨の際に音がかき消される場合もあり、家庭用受信機の整備によって、迅速かつ正確に避難勧告等が行うことができる。					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。